

施設概要

(令和7年3月31日現在)

施設名		開館時間	
西白井公民館 (西白井複合センター内)		公民館業務	午前9時～午後9時
		児童館業務	午前9時～午後5時
		図書室業務	(閲覧) 午前9時～午後5時 (貸出) 午前9時30分～午後5時
		老人憩いの家	午前9時～午後5時
所在地	〒 270-1435	併設施設	児童館・図書室・老人憩いの家 地域包括支援センター
	白井市清水口1-2-1		
TEL	047-492-1011	FAX	047-401-0282
メール	shiroifukugou@roukyou.gr.jp		
休館日	月曜日・国民の休日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	32台 (内2台障害者専用)
職員構成	所長1人・センター長1人・副センター長1人・事務職(常勤)1人・事務職(非常勤)2人・児童厚生員(常勤)1人・児童厚生員(非常勤)5人・図書司書(常勤)1人・図書司書(非常勤)4人 夜間管理3人 合計 20人		
貸出施設	1時間あたりの施設利用料(社会教育認定団体は2分の1)		
	施設名	定員	9:00～21:00 付帯設備
	工芸室	24人	350円 工作机4台・椅子30脚
	調理実習室	36人	720円 調理台6台・電子レンジ2台 ガス炊飯器2台等
	作法室	40人	350円 座卓15台・座布団70枚
	研修室	30人	350円 机10台・椅子30脚
	視聴覚室	50人	780円 机10台・椅子30脚 ピアノ1台・テレビ1台等
	レクリエーション ホール	160人	970円 移動ステージ1セット・卓球台6台 バドミントンネット2セット バスケットゴール等
貸し出し 可能備品	机・椅子・スクリーン・DVDデッキ・可動式パネル 他(備品の施設外貸出し不可)		

令和6年度 公民館等団体別利用状況
(西白井公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	63	879	269	2,984	18	201	20	273	1	13	18	81	389	4,431
5	62	1,080	236	2,898	12	159	16	210	3	22	5	35	334	4,404
6	57	850	281	2,848	17	191	23	350	6	51	15	67	399	4,357
7	52	843	258	3,076	15	146	20	246	13	662	15	85	373	5,058
8	52	787	205	2,024	17	168	18	263	10	239	33	178	335	3,659
9	51	1,045	235	2,387	27	268	18	236	9	796	26	142	366	4,874
10	67	1,280	271	2,863	14	218	21	256	26	801	20	71	419	5,489
11	49	908	227	2,759	17	185	22	316	18	427	11	61	344	4,656
12	50	920	196	2,083	17	199	17	193	29	3,486	8	51	317	6,932
1	64	998	220	2,365	19	181	21	323	14	283	11	53	349	4,203
2	58	915	214	2,349	13	162	18	231	11	160	14	94	328	3,911
3	77	1,430	254	2,739	13	186	19	235	12	93	17	85	392	4,768
合計	702	11,935	2,866	31,375	199	2,264	233	3,132	152	7,033	193	1,003	4,345	56,742
令和5年度・令和4年度それぞれの合計														
R5	756	11,453	2,899	31,244	142	1,841	258	2,890	180	4,962	222	1,175	4,457	53,565
R4	734	9,688	3,003	29,423	139	1,681	244	2,633	149	3,955	248	990	4,517	48,370

年間利用率は、小数点第1位まで記入してください。(小数点第2位を四捨五入)

令和6年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
工芸室	443	3,344	30.6
調理実習室	82	850	9.1
研修室	767	7,165	51.0
作法室	541	3,750	35.0
視聴覚室	880	12,631	58.6
レクホール	1,632	29,002	90.3
合 計	4,345	56,742	
令和5年度・令和4年度それぞれの合計			
令和5年度	4457	53565	
令和4年度	4517	48370	

令和 6 年度西白井公民館 事業報告

1 運営方針

(1) 全体の運営方針

- ・規制が緩和され停滞した活動に活気を取り戻す。
- ・白井で生活する充実感や楽しさを知ってもらい健康で生きる喜びと幸福感を与える。
- ・住みやすさが評判の西白井にある公民館として、おもてなしの心で多くの方々に利用していただくと共に新しいコミュニティに参画するきっかけを作る。

(2) 分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①子育て中の保護者同士が交友関係を広げ、お互いに支え合える仲間を作る。 ②子育ての支援を行い、地域全体で子育てを支える仕組みを作る。 ③子育て中の悩みや様々な問題を解決する手助けとなる知識を学ぶ。
青少年教育 (2)	①考え方や性格の異なる人同士が交流して個人を尊重し認め合う人物になる。 ②様々な学習・活動に取り組むことで学ぶことの楽しさや充実感を実感する。 ③講座を通し考察力や表現力を身に付け、コミュニケーション能力を高める。 ④中高生の生活を充実させる。
成人教育 (3)	①自己発見・自己実現のできる学習の場を提供する。 ②レクリエーションや運動により、加齢による能力の低下を予防する。 ③話し合いを通じて、地域の抱える身近な問題の解決方法を考える。 ④現代社会において、より良く生活するための知識を身につける。 ⑤高齢者や子育て世代の方々の生活を充実させる。
団体育成 (4)	①地域で活躍する人材と協力し、活動の発展や新たな活動の場をつくりだす。 ②地域住民が交流し、活動に取り組むための仲間づくりの場を提供する。 ③活動が停滞した団体を補助し、活動状態が盛んになることを目指す。

(3) 令和 6 年度 重点的に実施した項目（講座・事業など）

- ・中高生が参加できるように「将棋のじかん」を実施した。
- ・地域住民の教養を高める事業に取り組むため「白井ネクスト 5・10」を実施した。
- ・講座や事業の参加者が高齢化していて健康増進をはかるため認知症予防講座を実施した。
- ・子育て以上の方に関心が高く参加しやすい事業として「N I S A 講座」を実施した。
- ・年齢や性別、障がいの有無に関係なく参加できる「水彩画教室」を実施した。
- ・自粛生活より脱却し活動に活気を取り戻し、幅広い年齢層に積極的に参加してもらうため西白井複合センターまつりを開催した。

2 西白井公民館講座実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学習講座名	運営目標	回数	参加人数
家庭教育 (1)	おやこ広場（児童館共催）	① ② ③	10 回	延べ 235 人
	ママヨガタイム（児童館共催）	① ②	1 回	6 人
青少年教育 (2)	親子で！科学体験教室	② ③	6 回	延べ 81 人
	将棋のじかん（児童館共催）	① ② ③	12 回	延べ 63 人
	夏休み子ども工作教室（児童館共催）	① ② ③	1 回	7 人
	アートで遊ぼう（児童館共催）	① ② ③	2 回	延べ 19 人
	キッズクラブ（児童館共催）	① ② ③	5 回	延べ 41 人
	読書感想文の書き方教室（児童館共催）	② ③	1 回	6 人
	親子でパン教室（児童館共催）	① ②	1 回	23 人
	レッツクッキング（児童館共催）	① ② ③	2 回	延べ 24 人
	はじめてのパン教室	① ② ④	1 回	10 人
	書き初め練習会（児童館共催）	① ②	1 回	12 人
	白井ネクスト 5・10 生物多様性を考えよう	① ② ③	1 回	5 人
成人教育 (3)	男女共同参画事業（憩いの家共催） エンディングノートを書いてみよう	① ③ ④	1 回	18 人
	初心者向け!スマホ講座(憩いの家共催)	① ④	2 回	延べ 20 人
	40 歳から始めよう！（憩いの家共催）	① ④ ⑤	4 回	延べ 56 人
	大人のパン教室	① ② ④ ⑤	2 回	延べ 30 人
	腸活き活き講座	① ② ④	1 回	7 人
	はじめての和菓子講座	① ④	2 回	延べ 20 人
	はじめての NISA, iDeCo 講座	① ④ ⑤	1 回	19 人
	障がい者のための水彩画教室	① ③ ⑤	1 回	5 人

	スクレツィアート画教室(ヒーリングアート)	① ④ ⑤	1 回	7 人
	白井ネクスト 5・10 白井みりょく発見！	① ② ⑤	2 回	延べ 26 人
	白井ネクスト 5・10 SDG's みんなで目指すゼロカーボンシティ	① ③ ④ ⑤	1 回	14 人
団体育成 (4)	手芸カフェ	① ②	12 回	延べ 112 人

(2) 講座以外に行った事業

事業名	参加人数
ともしびの夕べ in 白井	延べ 1593 人
公民館利用者連絡協議会	28 人
西白井複合センターまつり (3 回の調整会議含む)	延べ 3047 人
レクホール開放	延べ 77 人

※参加人数については、人数を把握している（おおよその人数を含む）場合のみ記

(3) 情報の提供

- ・ポスター掲示（自館・他館・掲示板・外部掲示板他）
- ・広報しろいへの掲載
- ・西白井複合センターだより、児童館だより、自主事業ポスター掲示や配布
- ・ホームページへの掲載
- ・ブログへの掲載
- ・ミニコミ誌の活用
- ・SNS の活用（X・インスタグラム）

(4) 施設の提供

- ・生涯学習の場として、団体・サークルへの施設の貸出
- ・サロン開催や市民活動の場として、多目的室の貸出
- ・ロビーなど地域住民が交流できる場の提供

3 事業の評価

(1) 分野別方針

	評 価
家庭教育 (1)	・定期開催にし、参加しやすいように工夫をしたり、参加者同士育児について交流をしている様子があった ・ママヨガタイムは、親だけの時間が持てて良かったと好評だった。子どもだけの過ごし方もあったようだ
青少年教育	・親子で参加する講座は、好評だった。親と子の間に日常では得られな

(2)	い交流があった ・製作をしながら子ども同士の、協調性や自主性が養われた
成人教育 (3)	・講座名を変更して学習を深め、健康生活を送るため今から始められることを取り入れていけるようにした ・NISA 講座はわかりやすく、現代社会において関心の高さを伺えるものだった ・絵画を通して様々な世代の方に充実した生活を与えられた
団体育成 (4)	・定期開催をして、参加者同士の交流ができた。同じ趣味を通して居場所づくりができています。サークル化へはまだ難しい状態である

(2) 令和6年度重点的に実施した項目（講座・事業など）

評価
・将棋のじかんは、毎月定期開催にしたが参加が少ないのでさらに工夫が必要である。中高生にも興味を抱かせる講座にしていきたい ・白井ネクスト5・10では、教養を高められる講座にしたが参加者が思うようには集まらなかった。“SDGs!目指すゼロカーボンシティ”や“生物多様性を考えよう”などは難しい講座かと思われてしまったようだ ・“100歳まで元気”シリーズの講座名を変更して、“40歳から始めよう”シリーズにし、健康生活を送るため年齢を重ねても役に立つ知識を学ぶ講座にした。参加者の中には家族の方もいて、真剣に課題に取り組んでいた ・NISA 講座はわかりやすく、参加者は熱心に耳を傾け満足できる内容だった。現代の関心の高さを伺えるものだった ・水彩画教室は新たに設けた講座だったが、年齢や性別、障がい者でも関係なく自由に表現できる絵画教室だった。次年度も実施していきたい ・西白井複合センターまつりは、昨年度の反省を生かして準備から当日、後片付けまで参加者、ボランティア、職員の皆で協力して行うことができた。来年度にむけてさらに素晴らしいイベントにしていきたい

講座・学習プログラム【家庭教育】

講座名	おやこ広場			
対 象	乳幼児親子			
募集人数	10組 20人	参加人数	延べ103組	235人
事業の課題と目標	課題 ・転居してきた家庭や核家族が多く、子育ての悩みを気軽に聞くことができない ・簡単に情報を得ることはできるが、自分の子育てに合った情報なのか判断しづらい ・ 目標 ・乳幼児親子に季節を感じるイベントや製作を楽しんでもらう ・同世代の子どもを持つ保護者同士が情報交換を行える場を作る ・			
学習期間	令和6年4月～令和7年2月	学習場所	遊戯室、学習室、集会室	
回 数	10回	講 師	児童館職員	
学習内容	季節を感じる製作物の作成やイベントを開催し、乳幼児親子に楽しんでもらう			
予 算	支出総額：750円 内訳：講師料 0円 その他事業費 750円	決 算	支出総額：779円 内訳：講師料 0円 その他事業費 779円	
	参加者負担金：750円		参加者負担金：400円	
	事業参加者への配慮等 ・事故がないよう気を付けて見守る ・保護者同士の交流を促し、楽しい雰囲気の中で実施できるよう配慮する ・室内でも熱中症にならないよう、室温や給水時間に配慮する			
備 考	事業の成果（課題や目標に対して） ・簡単な製作を親子で楽しむことができた ・参加者同士の交流ができた ・季節を感じてもらったことができた			
	・4月から12月までは15組で募集していたが、参加人数が少なかったため、1月以降は10組の募集とした			

講座・学習プログラム【家庭教育】

講 座 名	ママヨガタイム			
対 象	子育て中（小学生以下）の人			
募集人数	10 人	参加人数	6 人	
事業の課題と目標				
課 題	・転居してきた家庭や核家族が多く、子育ての情報交換が十分にできない			
目 標	・子どもから離れて、自分のための時間を楽しんでもらう			
	・他の参加者と交流し、育児の不安やストレスを軽減する			
学習期間	令和 6 年 6 月 21 日	学習場所	視聴覚室	
回 数	1 回	講 師	フリースポーツインストラクター AKI 先生	
学習内容	母親向けのヨガ講座			
予 算	支出総額：5366 円 内訳：講師料 5000 円 その他事業費 366 円	決 算		支出総額：5366 円 内訳：講師料 5000 円 その他事業費 366 円
	参加者負担金：0 円		参加者負担金：0 円	
事業参加者への配慮等				
・安全に気を配る				
・室内でも熱中症に気を付ける				
・				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・子どもと離れてヨガをすることで、リラックスしながら自分のための時間を楽しむことができた				
・和やかな雰囲気の中で母親たちの情報交換をすることができた				

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	親子で！科学体験教室				
対象	小学生と保護者				
募集人数	各回 7 組 14 人		参加人数		延べ 39 組 81 人
事業の課題と目標					
課題					
・科学学習に興味を持つが、直接的な実験を行う機会がない子どもたちがいる					
・家庭内で科学に触れる機会がない					
・					
目標					
・子どもたちが「科学を理解する人」に育ち、ひいては「科学に理解がある人」が増えてほしい					
・身近な材料を使った実験や、見ていて楽しい仕掛けのある実験を行うことで、科学に対する興味を高められるようにする					
・					
学習期間	令和 6 年 5 月～令和 7 年 3 月		学習場所		多目的室
回数	6 回	講師	加地浩成さん・水野靖彦さん		
学習内容	5 月 身近な材料で電池を作ろう 11 月 “飛ぶ” を科学しよう 7 月 ドライアイスの不思議 1 月 磁石で遊ぶ 9 月 草木染め 3 月 表面張力を体験しよう				
予算	支出総額：60000 円 内訳：講師料 30000 円 その他事業費 30000 円		決算		支出総額：54369 円 内訳：講師料 30000 円 その他事業費 24369 円
	参加者負担金：21000 円		参加者負担金：21000 円		
事業参加者への配慮等					
・出欠確認（欠席の方へ電話確認）					
・参加児童に加え親御さんの参加もあり大人数になる為、テーブルや椅子やマイク等を状況に応じて準備する					
・講座進行の補助					
事業の成果（課題や目標に対して）					
・身の回りにあるものを使って実験や観察を行い、科学は身近に感じてもらえた					
・動きのある実験を心掛けることで、子どもたちの興味を引くことができた					
・親子で楽しい体験を共有することによって、科学を家庭での話題にしてもらうことができた					
備考					
・3 月に小学生以下の弟妹の同伴が 3 組あった					
・10 年以上続いた講座だが、講師都合により今年度で終了となる					

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	将棋のじかん			
対象	小中高校生			
募集人数	延べ120人	参加人数	延べ63人	
事業の課題と目標				
課題	・子どもが将棋を学べる場が少ない ・将棋を知ってもらいたい大人が多世代交流する場が少ない ・			
目標	・学ぶ楽しさを知る ・社会性を身に着ける ・地域のつながりを深め、将棋という文化の普及と伝承に努める			
学習期間	令和6年4月～令和7年3月	学習場所	学習室	
回数	12回	講師	いきいきボランティア	
学習内容 初心者とは将棋のルールを学び、経験者は対局しながら技術を磨く				
予算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円	
	事業参加者への配慮等 ・室内でも熱中症に気を付ける ・対局相手がいない子どもとの相手を探す ・			
事業の成果（課題や目標に対して） ・礼儀作法を学ぶことができた ・いろいろな人との対局により、将棋の世界の視野が広がった ・初心者の子どもたちにも将棋のおもしろさを知ってもらうことができた				
備考				

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	夏休み子ども工作教室 からくり工作 ひよっこりネコちゃんウサギちゃんを作ろう		
対象	小学3年生～6年生		
募集人数	24人	参加人数	7人
事業の課題と目標			
課題	・時間をかけた工作に、集中力が保てない子や難しいと感じている子どもたちがいる		
・			
・			
目標			
・いつもとは異なる複雑な工作に挑戦し、一つのものを作り上げる達成感、楽しさを実感してもらう			
・			
学習期間	令和6年7月26日	学習場所	研修室
回数	1回	講師	おもちゃ病院 近藤雅昭先生
学習内容	からくり工作のポップアップ絵本作り		
予算	支出総額：9800円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 4800円	決算	支出総額：6400円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 1400円
	参加者負担金：4800円		参加者負担金：1400円
	事業参加者への配慮等		
・けがのないように見守る			
・室内でも熱中症に気を付ける			
・			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・細かい作業が多かったが、全員が作品を仕上げて帰宅できた			
・絵本の表紙は自由に仕上げることで、思い思いの作品が出来上がった			
・			
備考	講師の友人1人と大山口中学校ボランティア部の生徒8人に協力してもらった		
・			

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	アートで遊ぼう		
対象	小学生		
募集人数	延べ24人	参加人数	延べ19人
事業の課題と目標			
課題	・アートの側面からの表現力や想像力を養う場が少ない		
目標	・個性を引き出し作品に投影させる		
	・アートを通じて新たに興味関心が持てる分野へのきっかけ作りをする		
学習期間	令和6年7月30日、8月23日	学習場所	工芸室
回数	2回	講師	パステルとアート認定インストラクター 河上さゆり先生 児童館職員
学習内容	1回目：パステルアート 2回目：コラグラフ		
予算	支出総額：8600円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 3600円	決算	支出総額：8600円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 3600円
	参加者負担金：3600円		参加者負担金：3600円
事業参加者への配慮等			
・講師の補助をし、児童と講師をうまくつなげる			
・児童が楽しく製作できるように配慮する			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・自分で工夫して製作を楽しむことができた			
備考			

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	キッズクラブ（にふくクラブ）			
対 象	小学生（9月以降は小中高校生）			
募集人数	延べ75人	参加人数	延べ41人	
事業の課題と目標				
課 題	・学校以外で友だち作りの機会が少ない			
・				
・				
目 標	・子どもたちの自主性や他者を思いやる心を養う			
・	・いろいろな学校の子ともたちの交流を図る			
・				
学習期間	令和6年5月～12月	学習場所	学習室、遊戯室	
回 数	5回	講 師	しろいdeあそ部のみなさん 児童館職員	
学習内容	小学生同士の交流と体を動かす遊び ボードゲーム センターまったり準備 センターまったりゲームコーナー接客（2日間）			
予 算	支出総額：5000円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 0円	決 算	支出総額：5000円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 0円	
	参加者負担金：0円	参加者負担金：0円		
事業参加者への配慮等				
・子どもたちがうまくコミュニケーションをとれるよう、全体に目配りする				
・環境を整える				
・室内でも熱中症に気を付ける				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・低学年や高学年の参加があり、他者を思いやる心が培われた				
・友達と協力して活動する楽しさを味わってもらうことができた				
・センターまったりでは、地域の人たちと交流することができた				
備 考				
・2回目からは対象を中高生にも広げ、3回目から名称をにふくクラブに変更した				

講座・学習プログラム【青少年教育】

講 座 名	読書感想文の書き方教室			
対 象	小学 1 年生～4 年生			
募集人数	8 人	参加人数	6 人	
事業の課題と目標 課 題	・ 本を読むことを楽しいと感じるきっかけがない ・ 読書に取り組めても、感想文を書くことは難しい			
目 標	・ 読書感想文を書くことを通じて、本を読むことが楽しいと知る ・ 自分の考えや感じたことを文章にする方法を学び、表現してみる			
学習期間	令和 6 年 8 月 3 日	学習場所	研修室	
回 数	1 回	講 師	秀明大学 4 年 田川日南子さん	
学習内容	・ 本を持ち寄り、感想を言ってみる。言ったことを読書感想文メモに記入してみ る ・ メモをもとに原稿用紙に読書感想文を書いてみる			
予 算	支出総額：6960 円 内訳：講師料 5000 円 その他事業費 1960 円		決 算	支出総額：6960 円 内訳：講師料 5000 円 その他事業費 1960 円
	参加者負担金：0 円		参加者負担金：0 円	
	事業参加者への配慮等			
・ 講師が指導しやすいような座席配置を心掛ける ・ 原稿用紙の書き方の基本や、書き方に困っている子どもに声をかける ・ 集中して取り組めるような環境に配慮する				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・ 事前に本を読んできてくれた ・ 講師が丁寧に子ども達に接してくれたので全員感想文を書いていた ・ 保護者も一緒に考えてくれて、親子の充実した時間がつくられた				
備 考	・ 小学生 6 人、保護者 4 人が参加した			

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	親子でパン教室		
対象	小学生とその保護者		
募集人数	12組	参加人数	10組23人
事業の課題と目標			
課題	・ジャンクフード等が手軽に食べられるようになり、食への関心が薄れてきている ・手軽に食品を購入できるので、食の調理工程を知らないまま育つ子どもが増えている		
目標	・パン作りを通して作る楽しさを知り、食への興味を深める ・親子での参加により、親子のコミュニケーションをはかる		
学習期間	令和6年7月13日	学習場所	調理室
回数	1回	講師	株式会社ニッポンクッキングパートナー 斉藤とし子先生・佐藤加代子先生
学習内容	親子で動物パン作り		
予算	支出総額：11000円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 6000円	決算	支出総額：11000円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 6000円
	参加者負担金：6000円		参加者負担金：5000円
	事業参加者への配慮等		
	・親子で仲良く体験できるように配慮する ・参加者がやけどしないよう注意する		
事業の成果（課題や目標に対して）			
	・パン作りに手間がかかることがわかり、何気なく食べている食品に関心が持てた ・親子でゆっくり調理ができて、コミュニケーションがはかれた		
備考			
	・募集人数より2組少ない参加だったが、先生が材料を12組分用意していたため、2組分の参加費1000円は複合センターで負担した		

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	レッツクッキング			
対 象	小学生			
募集人数	延べ22人		参加人数	延べ24人
事業の課題と目標				
課 題	・ジャンクフード等が手軽に食べられるようになり、食への関心が薄れてきている			
目 標	・料理を通して作る楽しさを知り、食への興味を深める			
学習期間	令和6年6月16日 令和7年2月8日		学習場所	調理室
回 数	2回	講 師	株式会社ニッポンクッキングパートナー 斉藤とし子先生	
学習内容	簡単なお菓子作り			
予 算	支出総額：17100 円 内訳：講師料 10000 円 その他事業費 7100 円		支出総額：17800 円 内訳：講師料 10000 円 その他事業費 7800 円	
	参加者負担金：7100 円		参加者負担金：7800 円	
事業参加者への配慮等				
・参加者のやけどに気を付ける				
・作業台に低学年と高学年を組み合わせて、協力し合う				
・後片付けは協力できるように声をかける				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・自分で何かを作る楽しさを知ることができた				
・お菓子作りに手間がかかることがわかり、食への興味が深まった				
備 考				
・2月は友人や姉妹での参加希望が多く、募集より2人多く参加した				

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	はじめてのパン教室		
対象	中学生、高校生		
募集人数	12人	参加人数	10人
事業の課題と目標	・ジャンクフード等が手軽に食べられるようになり、食への関心が薄れてきている ・スーパードで年中様々な食材を手に入れられる反面、食べ物の調理工程を知らないまま育つ子が増えている ・目標 ・パン作りを通して作る楽しさを知り、食への興味を深める ・ ・		
学習期間	令和6年8月18日	学習場所	調理室
回数	1回	講師	斉藤とし子さん
学習内容	調理パンを生地から作る		
予算	支出総額：9800円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 4800円	決算 支出総額：9000円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 4000円	参加者負担金：4000円
事業参加者への配慮等 ・食中毒予防のため、手をよく洗うよう声かけする ・熱中症に気を付けて、まめに水分補給してもらう ・オープンでやけどしないよう気を付ける			
事業の成果（課題や目標に対して） ・夏休みのお盆期間に開催したため、部活が休みで参加できた生徒が多かった ・中高生が楽しく上手にいいパンを作ることができた ・パンを作るには、時間と手間がかかることをわかってもらえた			
備考	. . .		

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	書き初め練習会		
対象	小学生		
募集人数	12人	参加人数	12人
事業の課題と目標	・冬休みの宿題の書き初めを、家庭でおこなうことが困難な小学生がいる ・ ・目標 ・書道に真摯に取り組んでいる書道サークルの講師のもと、少しでも上手に納得できる作品を仕上げる ・ ・		
学習期間	令和6年12月26日	学習場所	遊戯室
回数	1回	講師	田中恵粋さん
学習内容	冬休みの宿題の書き初めを練習し、書き上げる		
予算	支出総額：5000円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 0円	決算 支出総額：5000円 内訳：講師料 5000円 その他事業費 0円	参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等 ・講師の補助をし、参加者と講師をつなげる ・参加者のやる気や集中力が続くように声かけする ・			
事業の成果（課題や目標に対して） ・講師の指導のもと、参加者全員が時間内に素晴らしい作品を仕上げる事ができた ・ ・			
備考	. . .		

講座・学習プログラム【青少年教育】

講座名	しろいネクスト5・10『生物多様性を考えよう』 ～植物の絶滅危惧種と外来種を学ぼう～		
対象	小学4年生～中学生		
募集人数	10人	参加人数	5人
事業の課題と目標	事業の課題 ・外来種の植物が増えて在来種が絶滅の危機に瀕している ・どの植物が外来種か、絶滅危惧種かが分っていない 目標 ・生物多様性への理解を深め外来種や絶滅危惧種の植物を知る ・外来種の植物を見つけた時にどうするか、また、困った時に何処に聞くかを知る		
学習期間	令和6年8月2日	学習場所	西白井複合センター 視聴覚室
回数	1回	講師	千葉県生物多様性センター 下稲葉さやかさん
学習内容	植物の見本を使って、講師による講座の実施		
予算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等			
・参加者が手に取って見られるように植物サンプルを展示（講師が持参して頂く） ・説明を聞いているだけではなく、ワークシートを通して『考える』時間を作る			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・講師が植物サンプルを用意してくれたため、子どもたちの関心がより高まった ・ワークシートを通して、外来種の植物に対しての考え方が身に付いた ・絶滅危惧種の本を配布し、今後の勉強のきっかけ作りができた			
備考			
・昨年までは動物で実施したが、今年は植物で実施した			

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	男女共同参画事業 エンディングノートを書いてみよう		
対象	市内在住者		
募集人数	15人	参加人数	18人
事業の課題と目標			
課題	・家族同士、どのような家庭を築きたいか改めて話し合う機会がない		
	・日頃から自分の元気なうちに、家族に伝えられるように子や孫との関係を築く		
目標	・急な家族の逝去により、故人の遺志が確認できないことがある		
	・急な家族の逝去により、故人の遺志が確認できないことがある		
	・亡くなったときの対応を決めておくことで、相続等のトラブルを回避する		
学習期間	令和6年9月20日	学習場所	視聴覚室
回数	1回	講師	千葉県金融広報委員会 田中信之 先生
学習内容	・人生のエンディングに向けて（終活） ・終活の意識と実態調査 ・エンディングノートについて ・エンディングノートと相続についての関連 ・エンディングノートと遺言の違い		
予算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等			
・空調の温度調節に気を配った ・書き込みやすくするため、文字を大きくした資料を配布する ・白井市終活支援ノート作成にそった内容を提供した ・講師作成の文字を大きくした資料 2冊（テキストと白井市終活支援ノート作成方法）を配布する			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・講師は実際の例をあげ、極めの細かい詳しい説明で、参加者の心をつかんでいた ・最後の20分間は全体的に質問時間を設けて、ゆとりを持った講座であった ・アンケートでも「わかりやすかった」と参加者に大好評だった ・講座終了後も参加者の皆様から拍手をいただけるような雰囲気の中で内容が充実していた			
備考			
気温が35度で暑い時期なので次回開催するなら午前中に計画した方がよい			

講座・学習プログラム【成人教育】

講 座 名	初心者向け！スマホ講座			
対 象	市内在住者			
募集人数	延べ20人	参加人数	延べ20人	
事業の課題と目標				
課 題	・スマートフォンの使用に興味があってもうまく使いこなせない方が多い ・基本的な使い方を知りたい方が多い			
目 標	・スマートフォンを基本的な使い方を体験しながら学ぶ			
学習期間	令和6年10月2日	学習場所	研修室	
回 数	2回	講 師	NTT ドコモ	
学習内容	テキストに従い、スマホの使い方を学ぶ			
予 算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決 算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円	
	事業参加者への配慮等			
・間隔を保った机の配置をする ・事前にテキストをもらい、参加者に配布する				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・テキストに従い、スマホの使い方を学べた ・電源の入れ方、ボタン操作、インターネットの使い方、メールのやり方、地図のアプリの見方など、一人ひとりゆっくり丁寧に教えてもらうことができた ・午前も午後も参加された方が多く、次はどの教室に行けばよいか聞かれる方もいらしたもので、いろいろな内容で継続して実施出来たらしいと思う				
備 考				

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	40歳から始めよう！			
対象	一般			
募集人数	延べ62人	参加人数	延べ56人	
事業の課題と目標	課題 ・白井市の高齢化率は令和6年度約28%、今後も増加が見込まれるので、健康長寿のために準備しなければならない 目標 ・シニアの方々やご家族に役立つ情報を提供する ・一人では継続が難しいことも仲間と続けることで仲間作りにも役立ててもらおう			
学習期間	令和6年7月～令和7年2月	学習場所	視聴覚室、研修室	
回数	4回	講師	白井市高齢者福祉課、健康課、西白井駅前地域包括支援センター	
学習内容	・7月19日（金）介護保険制度、介護認定の流れ、介護サービスの種類の説明、「もしバナゲーム」 ・10月10日（木）ロコモ体操、フレイル予防体操 ・10月25日（金）コレステロール値改善、血管年齢、野菜摂取量、ヘモグロビン測定 ・2月20日（木）フレイル予防、血管年齢、野菜摂取量測定			
予算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算	支出総額 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円	
	事業参加者への配慮等 ・参加者が話しやすい雰囲気を作るよう心掛ける ・体操時の参加者全員の様子に気を配る			
事業の成果（課題や目標に対して） ・1回：介護保険認定、介護保険申請の流れなどを学ぶ。ケアマネジャーの選び方などの質問が相次ぐ。「もしバナゲーム」では全員と気あいあい、かつ真剣に取り組んでおられた ・2回：要介護予防にはスクワット、片足立が適している。フレイル予防のためのロコモ体操は継続が大事と再認識されていた ・3回：動脈硬化の原因になるコレステロール値を改善するポイント、食品について聞く ・4回：フレイル予防のための3つのポイントとバランスの良い食事のポイントを聞いた ・シニアの方々に役立つ情報を提供したいとの目標は十分達成できたと認識している				
備考				

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	大人のパン教室		
対象	一般		
募集人数	30人	参加人数	30人
事業の課題と目標 課題	・家庭で手作りパンを作る機会は少ない ・市販のパンは保存のために添加物を含有していることが多く健康面で不安がある		
目標	・ニーダーやホームベーカリーがなくても家で作れるように手ごねで行う ・手作りすることで安全・安心なパンを提供する ・担ね方から焼き上げまで自分で作れることを目指す		
学習期間	令和6年6月～11月	学習場所	調理室
回数	2回	講師	千葉ニュータウン友の会
学習内容	6月21日(木) テーブルロール・ハムチーズバン 11月14日(木) シュトローレン		
予算	支出総額：32000円 内訳：講師料 10000円 その他事業費 22000円	決算 支出総額 33705円 内訳：講師料 10000円 その他事業費 23705円	参加者負担金：21000円 参加者負担金：21900円
事業参加者への配慮等 ・まな板、包丁、食器の熱湯消毒、手洗いなどの衛生管理を心掛ける ・参加者全員が担ねかねから成形、オープンに入れるまでを自分のペースで作れるよう気を配る			
事業の成果（課題や目標に対して） ・1回：米粉入りのパンがテーマで二種類作る。参加者全員が手ごねを実習した ・2回：シュトローレン、一次発酵させた生地を参加者が分割、ペンチタイム、成形、二次発酵、焼き上げを行う。丸パン、米粉シチュー、サラダも作り、パランス良い献立を考えた ・1回、2回とも各工程を各自が実践、家で作りたいとのコメントが複数あった。目標は十分達成できた			
備考			

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	腸活き活き講座		
対象	一般		
募集人数	10人	参加人数	7人
事業の課題と目標 課題	・腸の不調を感じることが多いが、腸を正常に保つためには何が必要なのかわからない ・腸の健康状態を聞ける方法を知らない		
目標	・ヤクルトの製造過程を知ること、乳酸菌などの重要性を理解する ・健康寿命に関心を持ち、腸に興味をもてる		
学習期間	令和6年9月11日(水)	学習場所	研修室
回数	1回	講師	千葉県ヤクルト販売(株) 食生活アドバイザー 榎 豊子 さん
学習内容	・オンラインでヤクルト工場を見学 ・腸内細菌や免疫の話聞く ・クイズに答えたり、軽い体操をおこなう		
予算	支出総額：0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	決算 支出総額 0円 内訳：講師料 0円 その他事業費 0円	参加者負担金：0円
事業参加者への配慮等 ・オンライン、パワーポイントで講義を受けるため、上段のスクリーン（ホワイトボード）が見えやすいように暗幕を閉め証明も消したりした ・空調がきき過ぎないように、参加者の意見を聞いた			
事業の成果（課題や目標に対して） ・自身の体調に多少なりとも不安を抱えている方が多く参加されていた。今回の講座をうけることで腸内細菌について知識を得ることができ、とても喜んでいった。参加されていない方達に講義内容を伝えていた ・ヤクルト製品から摂取できるシロタ株は、腸の中で免疫効果を高め、健康を維持するため重要なものであることを学んだ ・健康な毎日を過ごせるように役立てていきたい			
備考	・講座前日に参加者へ確認の連絡をしたが、当日2名の欠席があった		

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	はじめのNISA, iDeCo 講座			
対象	一般			
募集人数	20 人	参加人数		19 人
事業の課題と目標	課題 ・近年の社会保険や税金の増加、物価上昇、低金利など社会環境の変化に対応するため将来への人生においてのマネープランが必須である 目標 ・金融商品として、NISA, iDeCo の基本を学び今後の人生プランを考えるきっかけを作りたい			
学習期間	令和6年6月8日	学習場所		視聴覚室
回数	1 回	講師	日本証券業協会金融証券インストラクター 水谷恒夫さん	
学習内容	投資としての金融商品のNISA は少額の投資が非課税になる制度、iDeCo は公的年金に上乗せする個人型の年金制度詳しい説明			
予算	支出総額：0 円 内訳：講師料 0 円 その他事業費 0 円	決 算		支出総額：0 円 内訳：講師料 0 円 その他事業費 0 円
	参加者負担金：0 円		参加者負担金：0 円	
事業参加者への配慮等 ・こまめな水分補給をお願いする ・途中休憩、講座後の質問時間を考慮しておく				
事業の成果（課題や目標に対して） ・参加者は熱心に講座後には数人が真剣に質問されていた ・親子で参加された方もおられ、関心の高さがうかがえた ・アンケートではパワーポイントを使ったわかりやすい講座だったと好評を頂いた				
備考				

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	はじめの和菓子講座			
対象	一般			
募集人数	延べ20人	参加人数	延べ20人	
事業の課題と目標				
課題	・「和」に対する興味や関心が薄れている			
	・新しい学習に取り組もうと思っても、難しく感じる人が多い			
目標	・季節に合った和菓子を作ること、伝統的な和菓子を知ってもらう			
	・楽しく簡単にものづくりに参加してもらい、生涯学習への興味を高める			
学習期間	令和6年4月～10月	学習場所	調理実習室	
回数	2回	講師	さつまや 渋谷竜一さん	
学習内容	4月、10月ともに「練り切り」と「きんとん」をそれぞれ2個ずつ、成形と仕上げを行った			
予算	支出総額：16000円 内訳：講師料 14000円 その他事業費 2000円	決算	支出総額：15861円 内訳：講師料 14000円 その他事業費 1861円	
	参加者負担金：11000円		参加者負担金：11000円	
	事業参加者への配慮等			
	・各自、テーブルに置かれた材料一式を確認してもらう			
	・全員が楽しく和やかな雰囲気になるように気を配る			
事業の成果（課題や目標に対して）	・成形のコツをつかむのが難しく、各テーブルで交流を深めつつ講師の助言をもらいながら楽しく作業が出来ていた			
	・和菓子を通して、春と秋の季節を感じてもらえた			
	・講師への質問などから和菓子への興味が深まった様子がうかがえた			
備考	・講座は2年目となるが、今年度は初めて受講される方を優先して受付を行った			

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	障がい者のための水彩画教室		
対 象	○×をかける障がい者		
募集人数	5 人	参加人数	5 人
事業の課題と目標			
課 題	・障がい者の方が学校を卒業し、社会へ出たあとと居場所がない		
目 標	・この講座をきっかけに公民館の他の講座を気軽に受講して生涯学習の習慣をつける ・ポジティブな考えのスクレツィアート画を通して自己表現をして最後まで描ける達成感や満足感を味わい自信をもってもらう ・参加者の作品を鑑賞し連帯感を持ち、仲間づくりのきっかけをつくる		
学習期間	令和 6 年 11 月	学習場所	工芸室
回 数	1 回	講 師	2024 国立新美術館「二科展」入選者 HANAKO さん 助手 2 名
学習内容	・スクレツィアート画の失敗のないポジティブな考え方を学ぶ ・水筆ペン、固形水彩絵の具の使い方を学ぶ ・基本の描き方を学び、クリスマスカードの課題を各自描く		
予 算	支出総額：1500 円 内訳：講師料 0 円 その他事業費 1500 円	決 算	支出総額：1500 円 内訳：講師料 0 円 その他事業費 1500 円
	参加者負担金：1500 円	参加者負担金：1500 円	
事業参加者への配慮等			
・各自休憩は自由にとってトイレは自由に出入りをしてもらう ・幅広い年齢層にも対応した教材で難易度別にした ・講師だけでなく 2 名の助手の方もお手伝いしてもらい、個別に対応した			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・100 円ショップでも手に入る道具を使うことで水彩画が気軽に身近に感じていた ・スクレツィアート画は誰でも簡単にできるのでもた描きたいと意欲を持っていただけ ・参加者全員課題教材のクリスマスカードを最後まで仕上げ達成感を感じ満足していた			
備 考			
・近隣の障がい者施設の方から、障がい者芸術文化活動支援センターに参加者をもっと増えるのではないかとアドバイスをいただいた ・同日、スクレツィアート画教室の開催で講師料、重なるその他の事業費はスクレツィアート画教室の講座・学習プログラムに記載した			

講座・学習プログラム【成人教育】

講 座 名	スクレツィアート画教室（ヒーリングアート）			
対 象	一般			
募集人数	5 人	参加人数	7 人	
事業の課題と目標				
課 題	・子どもから大人まで誰でも簡単にできるスクレツィアート画を学んで芸術の世界を堪能する			
目 標	・上野の森美術館・国立新美術館・パリやブルネイなど海外に出展したことがある芸術家の講座を受けて芸術を身近に感じてもらう			
	・この講座をきっかけに公民館の他の講座を気軽に受講して生涯学習の習慣をつける			
	・ポジティブな考えのスクレツィアート画を通して自己表現をして最後まで描ける達成感や満足感を味わう			
	・参加者の作品を見て鑑賞し連帯感を仲間づくりに役立てる			
学習期間	令和6年11月	学習場所	工芸室	
回 数	1 回	講 師	2024 国立新美術館「二科展」入選者 HANAKO さん 助手 2 名	
学習内容	・スクレツィアート画の失敗のないポジティブな考え方を学ぶ ・水筆ペン、固形水彩絵の具の使い方を学ぶ ・基本の描き方を学び、クリスマスカードの課題を各自描く			
予 算	支出総額：8500 円 内訳：講師料 5000 円 その他事業費 3500 円	決 算	支出総額：10736 円 内訳：講師料 5000 円 その他事業費 5736 円	
	参加者負担金：1500 円	参加者負担金：2100 円		
事業参加者への配慮等				
・各自休憩は自由にとってトイレは自由に出入りをしてもらう				
・幅広い年齢層にも対応した教材で難易度別にした				
・講師だけでなく2名の助手の方もお手伝いしてもらい、個別に対応した				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・100円ショップでも手に入る道具を使うことで水彩画が気軽に身近に感じていた				
・スクレツィアート画は誰でも簡単にできるのでまた描きたいと意欲を持っていた				
・全員課題教材のクリスマスカードを最後まで仕上げ達成感を感じ満足していた				
備 考				
・来年度は年に数回実施し、更にスクレツィアート画を広めたい				

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	白井ネクスト5・10 白井みりよく発見！			
対象	一般			
募集人数	延べ40人	参加人数	延べ26人	
事業の課題と目標				
課題	・身近でありながら白井について何があるのか、何が起こっているのか、知らない人が多い ・外との交流が減っている中、集団で学習する機会が少なくなってきた			
目標	・住んでいる町の歴史や知識を深め、理解してもらう ・白井にもっと興味を持ってもらい、地域の活性化に繋げるきっかけを作る ・参加者同士の交流の機会を作り、大勢で何かをする楽しさを知ってもらう			
学習期間	令和6年10月～令和7年3月	学習場所	桜台地区周辺・西白井複合センター研修室	
回数	2回	講師	しろいふるさとガイドの会 市川先生	
学習内容	・白井の歴史について、今年の干支（竜）に関する史跡を主に散策と座学を実施した ・インターネットでは出ない白井の歴史を学び、知識を深める			
予算	支出総額：10000円 内訳：講師料 10000円 その他事業費 0円	決算	支出総額：10720円 内訳：講師料 10000円 その他事業費 720円	
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円	
事業参加者への配慮等				
・散策は事故やケガがないよう常に周囲を見回し、はぐれないよう人数確認を行った ・講師や参加者が講座に集中できるように環境を整えた				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・集団で史跡を歩いて回することで、参加者同士のコミュニケーションが取れ、現地へ行かなくても分らないことが体験できたと思われる ・講師の話をもそのまま聞くだけでなく、クイズ形式にして学ぶことにより楽しく白井に関する知識を深めてもらえたと思われる				
備考				

講座・学習プログラム【成人教育】

講座名	白井ネクスト5・10 SDGs みんなで目指すゼロカーボンシティ				
対象	一般				
募集人数	15人	参加人数		14人	
事業の課題と目標					
課題	・各地で異常気象が続いているが、原因について知る機会が少ない ・世界で話題のカーボンニュートラル（脱炭素）とは何なのか知る機会が少ない ・市が表明した「ゼロカーボンシティ」を詳しく知りたい方がいる				
目標	・世界の環境問題を知り、自分たちに身の回りから出来ることは何なのかを考える ・専門の講師からカーボンニュートラルを学び、知識を深める ・専門講師や市役所職員から話を聞くことで、これからの取り組みへの意識を高める				
学習期間	令和6年8月	学習場所	視聴覚室		
回数	1回	講師	東邦大学准教授 安立美奈子さん 白井市役所 環境課環境係		
学習内容	・2050年までに二酸化炭素排出量を実質0にするために今から身の回りの自然を大切にすること ・ペットボトルなどごみの削減をするなど具体的なことを教えていただきたいこれらの生活をどう過ごすかを学んだ。				
予算	支出総額：10000円 内訳：講師料 10000円 その他事業費 0円		決算	支出総額：10000円 内訳：講師料 10000円 その他事業費 0円	
	参加者負担金：0円		参加者負担金：0円		
事業参加者への配慮等					
・暑いので水分を取りながら参加してもらう ・熱いのでエアコンで温度管理をし、健康管理に気を付ける					
事業の成果（課題や目標に対して）					
・市で目指す、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、市での取り組みの進捗状況を知ってもらえた ・「無理なく続ける」を前提に、身の回りの資源を大事にして節約することで、少しでも二酸化炭素の排出量を抑えてもらうように考えてもらえた					
備考	・環境問題に熱心な参加者多く、質疑応答の時間が足りず、終了時間が15分遅くなった				

講座・学習プログラム【団体育成】

講座名	手芸カフェ（定期講座）			
対象	手芸が好きな人			
募集人数	延べ112人	参加人数	延べ112人	
事業の課題と目標				
課題	・何かのきっかけがないと、外に出て人と交流する機会が少なくなっている			
	・ひとりでは始めづらく、作業する場所がない等で、趣味を楽しむ機会を失っている			
目標	・手芸を通して人のつながりを作り、気軽に集まれる場所をつくる			
	・作ることの楽しさや、完成させた時の充実感を得てもらう			
学習期間	令和6年4月～令和7年3月	学習場所	多目的室・工芸室	
回数	12回	講師	センター職員	
学習内容	・手芸ができる場所の提供をし、同じ趣味で集まった人同士の交流を図る			
	・初心者でも楽しめるように手芸キットを用意し、多様な手芸を楽しんでもらう機会を作る			
予算	支出総額：70000円 内訳：講師料 0円 その他事業費 70000円	決算	支出総額：73535円 内訳：講師料 0円 その他事業費 73535円	
	参加者負担金：66000円			
	事業参加者への配慮等			
	・参加者同士が交流しやすいように環境を整える			
	・手芸で困っている参加者がいたら解決できるよう手伝う			
	・配布する手芸キットは、分かりやすく作りやすいものを作成する			
事業の成果（課題や目標に対して）	・継続して活動しているため参加者同士の仲間意識が育っており、居場所づくりに役立っていると思われる			
	・参加者同士で持ち込み作品を見せあい、分からないところを教えあう交流が増えたことで、やりがいと達成感を得ることが出来たと思われる			
備考	・多目的室が選挙会場となったため、令和7年3月の回は工芸室で開催した			

事業活動

事業名	ともしびのタペ in 白井		
対象	一般		
参加人数	延べ1593人		
事業の課題と目標	課題 ・東日本大震災から令和7年3月で14年が経過し、当時の記憶が風化しつつある ・地震などの自然災害について常に備えておく必要がある 目標 ・白井市内の各地に紙とろうろを並べ、東日本大震災犠牲者に追悼の意を示す ・東日本大震災などの災害について知ること、危機感を高め緊急時の準備をする ・児童や公民館利用者にロウソクの風よけを作成してもらい、地域住民の交流をはかる		
期間	令和6年4月～令和7年3月	回数	13回
場所	西白井複合センター、桜台センター、白井駅前梨の泉		
事業内容	市内の保育園、幼稚園、各小中学校の園児、児童、生徒と市民の方々の有志を募り紙とろうろを作成してもらい、西白井複合センター、白井駅前梨の泉、桜台センターでイベントの日に紙とろうろを灯す 西白井複合センター、桜台センターは追悼のためのコンサートなどを行う。イベント日には募金箱も設置して協力を募る		
事業参加者への配慮等	・実行委員が活動しやすいように情報の共有に努める ・実行委員の取り組みたいことが実現できるように、相談先等の情報を提供する ・運営がスムーズにできるよう、情報共有に協力する		
事業の成果（課題や目標に対して）	・カリキュラムの中に組み込んでいた学校もあり、たくさんの方に追悼してもらえ災害に対する準備の関心を深めることができた ・「ともしびのタペ in 桜台」ではコンサートを催し、多くの方に追悼してもらえ災害に対する準備の関心も深めた ・3月の「ともしびのタペ in 白井」ではたくさんの方々に身近で起こった能登半島地震や直近に起こった大船渡の森林火災に関心を深め、被災地の災害復興の協力を考えてもらった地域の災害に対する準備の関心も再確認してもらった		
備考	・ ・		

事業活動

事業名	2024年度西白井複合センター利用者連絡協議会			
対象	一般			
参加人数	28人			
利用者連絡協議会の内容	・センターからの参加報告 ・出席者の紹介 ・今年度の動向についてお知らせとセンターからのお願いと注意 ・センターまつりについて ・その他 利用者からの意見			
期間	令和6年6月30日	回数	1回	
場所	西白井複合センター 視聴覚室			
事業内容	団体活動で利用するときの諸注意を連絡して、円滑に利用できるようにする。			
事業参加者への配慮等	・参加者の紹介をする ・ワイヤレスマイクを使って、意見が伝わるようにした ・昨年度の反省記録を参考にし、課題を積極的に話し合った			
事業の成果（課題や目標に対して）	・各団体の自己紹介を通して、お互いのサークル活動を知ることができた ・センターまつりの今後の日程は、参加者募集 7/1～7/31、第1回調整会議 9/7、第2回調整会議 10/12、第3回調整会議 11/16、反省会 12/15に決定した			
備考				

事業活動

事業名	第35回 西白井複合センターまつり			
対象	一般			
参加人数	延べ3047人			
事業の課題と目標	課題 ・利用するサークルが減少している ・地域住民が、西白井複合センターの存在を確認できていない 目標 ・各サークルが学習の成果を発表・展示することでお互いの活動を知ることができる ・利用者同士が協力して、センターまつりを盛り上げ、連帯感が持てるようにする ・子どもから高齢者まで楽しめる催しを実施し、地域住民同士交流を深める			
期間	令和6年12月7日、8日	回数	1回	
場所	西白井複合センター 全館			
事業内容	団体活動発表、展示、活動体験、模擬店、販売、DVD 視聴、将棋対局			
事業参加者への配慮等	・地域住民に広報するため、チラシを配ったり当館に掲示をした ・来場者が楽しめるような、人気のキッチンカーを手配したりマスコットキャラのショーを開催した ・利用者と一体感を持てるように、装飾のアイデアを募集し取り入れた ・ボランティアにも運営を担ってもらえるようにした			
事業の成果（課題や目標に対して）	・参加者がとても多く、活気に満ちたセンターまつりが開催できた ・サポートナースに来てもらい、安全安心を得ることができた ・大学生や中学生の協力を得られ運営を手伝ってもらい、利用者や職員、来場者から好評だった ・調整会議を増やし3回にしたことで、確認し合えたことは良かった ・反省会で出た意見を次年度のセンターまつりに生かしていきたい ・この行事を通して、西白井複合センターの存在を広めることができた			
備考				

事業活動

事業名	レクホール開放		
対象	18歳以下の子どもと保護者		
参加人数	延べ77人		
事業の課題と目標	事業の課題 ・児童館の遊戯室は狭いので、一人ひとりがのびのび遊ぶには限界がある ・ ・ 目標 ・広い部屋で、普段児童館ではできない運動を楽しむ ・運動遊びを通じて、異年齢の子どもたちの交流を推進する ・		
期間	令和6年7月～令和7年3月	回数	3回
場所	レクホール		
事業内容	ドッジボール、バスケットボール、バドミントン、大縄跳び等の運動遊び		
事業参加者への配慮等	・けがのないよう、注意して見守る ・熱中症に気を付けて、水分補給を呼び掛ける ・一人で参加している児童も楽しめるように配慮する		
事業の成果（課題や目標に対して）	・児童館ではできない、ボールを使った遊びをとても楽しんでいた ・大縄跳びやボール遊びで異年齢児童、生徒の交流を楽しむことができた ・レクホール使用後の後片付けを、協力して行うことができた		
備考	・ ・		